

安里屋ユンタ

本調子

中 工 七 合 四 七 合 七 七 五 工 四 上

中 工 合 工 合 五 工 ○ 四 合 四 上 合

中 上 合 工 合 乙 四 中 上 中 老 四 ○

四 合 上 合 中 工 中 合 上 合 四 合

上 中 工 合 工 五 工 合 工 合 五 合

五 合 工 合 五 七 五 合 工 中 上 合

中 五 工 合 中 上 四 ○ 合 四 上 合

中 上 合 工 合 乙 四 中 上 中 老 四 合

一、サー君は野中のいばらの花か

サーユイユイ

暮れて帰ればやれほにひきとめる

マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立てて

サーユイユイ

主は白百合やれほにままならぬ

マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よ

サーユイユイ

二人で気がねにやれほに水入らず

マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ

四、サー染めて上げましよ紺地の小袖

サーユイユイ

掛けておくれよ情けのたすき

マタハーリヌチンラダカヌシヤマヨ